

螢 雪

第 82 回
(81・82合併号)

— 華陽フロンティア高等学校同窓会新聞 —

平成25年7月3日

発 行
岐阜市西鷯6の69
華陽フロンティア高等学校同窓会
電話058(275)-7185

発行責任者
樽 谷 毅

印 刷
サンメッセ株式会社



平成23年度 華陽フロンティア高等学校同窓会総会 平成23年10月16日 於 岐阜グランドホテル

進化し発展する母校に感謝

同窓会長 樽谷 毅



会員の皆様にはお元気でご活躍の事とお慶び申し上げます。

日頃は、母校および同窓会のために、お力添え、ご支援を頂き、誠にありがとうございます。

さてこの十年間を振り返ると、世界各地はもとより国内においても「激動と変化」の歲月であったと思います。その中でも、昨年三月の「東日本大震災」は忘れる事が出来ません。一日も早く「復旧・復興」されますように、心からお祈り申し上げます。

月日はめぐり、十月には「伝統行事」である母校の創立八十周年感謝記念事業が盛会にのうちに終了できました事は、同窓会役員の方はもとより、PTAはじめ、校友会、校長先生、諸先生方さらには、寄付を頂いた方および賛同頂いた企業様とご理解ご協力を頂いた多くの皆様に「感謝」せずにはいられません。本当にありがとうございます。

思い出しますに、十年前に澤田名誉会長が七十周年を大盛会に実施して下さいました。その後を引き継ぎ、ご指導を頂きつつ、皆様のご協力とご尽力を頂戴しながら、この十年が無事に終われる事に「感謝」で一杯です。ありがとうございます。

さて今年、二年に一度の「同窓会」がめぐつ

てまいりました。

前回は祝賀会会場で同時開催とさせて頂きましたが、今回は例年のように「岐阜会館」で八月四日に開催させて頂きます。よろしくお願ひ致します。

この八月四日(日)の総会は、卒業一年目・二十年目・四十年目の方々に「同窓会」の協力学年として参加して頂く事になってはおりますが、一人でも多くの皆様方の出席をお待ちしております。伝統ある母校行事であります。また同窓会の大きな柱であり使命であると思えます。学ばせて頂いた母校の同窓会総会に出席して有意義な一日を過ごして頂き、明日への活力源にして頂きたいと願っております。

母校も一昨年の異動で中島潤校長は、岐阜山高校へ移られ、本校へは岐阜山高校より加藤知之校長を、そして、今年の移動では高橋克副校長の定年退職を受けて大垣養老高校より鷺見幸彦副校長をお迎えし、新しく出発したところです。

同窓会の執行部もこの総会を期に、九十周年記念事業に向かっての出発です。皆様の意見などを聞きながら前進したいと思っております。どうぞよろしくお願ひ致します。

皆さんの益々のご健勝を祈念しつつ感謝のご挨拶とさせていただきます。

感謝

フロンティアの心意気をいつまでも

校長 加藤知之



創立八十周年の節目の年に勤められた前任の中島校長に替わり、昨年度から、伝統ある華陽フ

ロンティア高等学校に勤めることになりました。定時制、通信制の卒業生の方々と併せて一万三千余名の同窓会員を持つ歴史ある学校に勤めますことは身の引き締まる思いですが、一所懸命務める所存でございますのでよろしくお願いいたします。

創立八十周年感謝記念事業では、体育館の音響照明装置、各教室の扇風機等の設置を行っていただきました。また、昨年度は、春の叙勲を授けられた卒業生の方の寄付で、図書館に多くの書籍を購入することもできました。学習や部活動、特別活動で大いに活用させていただくと共に、生徒の健康管理に大変役立っております。この他にも同窓生の皆様には、華陽フロンティア高校の教育活動に対し、様々な場面でご支援をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

さて、入学式の式辞の中で、本校の伝統について次のような話をしました。
『校名は変わりましたが、ずっと変わ

らぬ伝統を保っています。その伝統とは、生徒の皆さんが、様々な困難な状況にありながらも、強い意志を持って、それに立ち向かい、自らの希望や夢の実現に向けて、人生を切り開いていく「開拓者」フロンティア」の心意気であります。』

定時制、通信制で学ぶ生徒を取り巻く状況は変わりましたが、困難を克服し人生を切り拓いてきた卒業生の皆さんの生き方を学び、引き継いでほしいという思いから話した言葉です。

今後も、卒業生の皆様のように社会に貢献できる自立した生徒を育て、創立九十年、百年と輝かしい伝統が続きますよう全教職員で努力してまいります。ご支援ご協力をお願いいたします。



平成24年度定時制文化祭入場門「岐阜城」

創立八十周年感謝記念大会が盛會に終わり

新しい歴史のスタート

同窓会名誉会長 澤田榮作



今年には戦後六十八年にあたり、もうすぐ七十年を迎えようとしています。今日の日本

の平和と繁栄は多くの国民の尊い人柱とご努力のおかげさまでありますが、いつの間にか八十年を超えたわが母校の歴史もその通りで、昨年無事に八十周年を迎えられましたのは、先人の方々のおかげさまで心から感謝申し上げます。

また、八十周年感謝記念大会に関しましては誠実な樽谷同窓会会長と前中島校長を中心に、学校、同窓会、校友会、PTA等の皆さんが一致団結して立派な大会を実施していただきましたことはご存じの通りであります。関係者の皆さんが一体となつてご努力くださった結果だと、母校へのご恩返しに永年同窓会のお手伝いをさせていただいている私も心から喜んでいるところです。新たに加藤校長をお迎えしまして、これからが九十周年に向かっての新しいスタートの時です。同窓会は校長先生と同窓会会長を中心の一つの日も生徒の益々の幸せを心から願ひ、陰ながら応援し、そして母校の伝統を守ることが大きな

役目だと思います。

それでは、八十周年記念大会が無事に終わりましたことに重ねて御礼申し上げます。母校の益々の発展と皆様のご健勝を祈念しつつ、九十周年に向かって頑張りますことを皆さんと共に誓って、あいさつとさせていただきます。

感謝



平成24年度通信制文化祭「スタンドグラス」

創立八十周年感謝記念事業へのご協力ありがとうございました

創立八十周年感謝記念事業実行委員会 同窓会実行委員長 川島 英司



平成二十三年七月十四日発行 蛭雪第八十号で同窓生の皆様に記念事業へのご協力を

お願いしましたところ、同窓生を始めとして教職員、企業、在校生、PTA・校友会の皆様方のご理解とご協力により、千六百二十二万円余の協賛金が集まりました。厚くお礼申しあげます。お陰様で計画した次の記念事業を滞りなく実施できました。

一、記念式典の挙行

母校体育館で式典に先立ち物故者に対する哀悼のごとばと黙祷を捧げた後、淵上岐阜県副知事を始め多数の来賓のご臨席を賜る中、記念式典に移り、国歌斉唱、実行委員長式辞、学校長挨拶、岐阜県教育委員会挨拶、感謝状贈呈、来賓祝辞と紹介、記念品目録贈呈、生徒代表挨拶、校歌を声高らかに斉唱して記念式典を閉じました。

二、記念誌及び寄付者名簿の発行

今回からA版に大型化した記念誌「蛭雪八十周年この十年の歩み」を発行しました。創立当時から平成二十三年度までのダイジェストと、七十周年以後の十年間の発展の歩みを豊富な資料を添えてまとめ

しました。また、記念事業に協賛して頂いた方々の「寄付者名簿および協賛広告」を作成しました。

創立八十周年感謝記念式典



物故者への慰霊

三、母校体育館音響照明装置等の寄贈

体育館の音響照明装置等の充実を図るため、機器の設置に必要な資金を寄贈しました。

四、母校教室扇風機等の寄贈

暑い夏場の教育環境の改善を図るため、各教室の扇風機設置に必要な資金を寄贈しました。

五、記念祝賀会の開催

祝賀会は会費制で、会場を岐阜グランドホテルに移して開催しました。百八十九人の方に参加して頂き、和太鼓のアトラクションで盛り上がり、久し振りに会った同級生との会話が弾み、和やかな歓談のうち八十周年を祝いました。

このように盛大な創立八十周年感謝記念事業を無事執り行うことができたのは、協賛して頂いた関係者の方々と平成二十年度に設置した実行委員会設立準備委員会に始まる同窓会、学校、PTA・校友会等の関係者が、幾多の困難な課題を乗り越えてきた、実に四年間に亘る周到な準備のおかげでした。度重なる会議に積極的に参加し、募金活動など諸般に亘って率先して活動し

て頂いた結果の賜物に他なりません。

結びに当たり「岐阜県立華陽フロンティア高等学校創立八十周年感謝記念事業」を支えて頂きました全ての皆様へ、深く感謝申しあげますと共に、次なる九十周年に向けて母校並びに同窓会の益々の発展と皆様のご健勝を祈念して、報告とお礼の辞といたします。

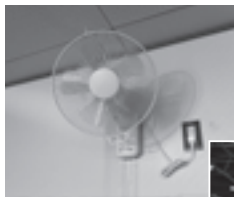
発展する母校の最近の歩みを記録した創立八十周年記念誌「蛭雪八十年この十年の歩み」（一冊千八百円）は、若干の余部があります。特に七十周年記念事業以後に卒業された同窓生の皆様には、思い出深い内容が一杯詰まっていると思えますので、希望の方は、母校同窓会事務局までご連絡ください。



感謝状の授与



在校生代表による挨拶



寄贈により各教室に設置された扇風機



盛況の祝賀会

役員のことば

長年に渡りご尽力頂いた役員からのメッセージ

うすれし華陽高魂

副会長 浜野 健三

華陽F高校創立八十周年記念募金の時の進捗状況が不調と知った先輩が、自から旧友宅を訪れ七十周年時とほぼ同額を達成したと聞き、華陽魂は生きていると思つた。

しかし全般的にはどうか、募金賛同者二十%弱、非賛同者八十%。この八十%の中には、その主旨に賛同しつつも期待に応えられない、事情を持つた者もあるだろう。それにしてこの八十%という数字はあんまりである。なぜこうなったのだろうか。その理由は多々あるうが学校と同窓生の間に不毛の砂漠地帯が広がっているような気がする。

そしてプライバシー権の拡大によって、同窓会名簿に記載を希望しない者が五十%近くなり、同窓会名簿はもはやその使命を失つた。

今、母校華陽フロンティア高校は八十年の歴史の中で、その設備は最も充実しているがその華陽魂の希薄に何人が気付いているだろうか。

八十周年記念行事のタイトルに、あえて感謝の二文字を付加したにもかかわらず、その精神は淡々として伝わらなかつた。

同窓会とは、母校愛とは今問いなおさ

れている。願わくばこの問題が顕在化せず、おだやかな流れの中で温かく修復されていくことを新役員の手腕を期待しつつひたすら願っている。

「人生に無駄は、一つも無い」

副会長 廣瀬富久夫

卒業して三十八年その間、我が母校は時代の流れの中で、校名変更、校舎の移転、通信制及び単位制の導入等々、時代のニーズに合わせ大きく発展したことを嬉しく思っているのは、私だけではないでしょう。

私の同期は今五十年代後半、会社でも地域でも無くてはならない存在に成つておられます。夜間高校の四年間本当に素晴らしい先生と仲間に出会ふことができ、一生の宝に成つております。授業、生徒会活動、クラブ活動どれも素晴らしい思い出であり、卒業しても夜間高校で勉強できた事を誇りに思っています。

卒業は、二十二歳で少し回り道をしたかもしれませんが、「人生に無駄は、一つも無い」ゆえに腐らず前向きに生きていきます。

「三五華友会」とともに

副会長 鞆岡 道雄

卒業五十三年。今だに教室と体育館の生き生きとした情景がよみがえつてくる。みんな眼を輝かして勉強した。そのうえ、バスケも、バレーも、野球も実に強かつた。担任の井上博卿先生、石田正富先生、安藤一郎先生は、すばらしい個性をもつて学年全員を温かく指導して下さいました。実にすばら

しい恩師と仲間の集団であつた。その絆は今も変わらない。『三五華友会』は学年同窓会である。概ね三年ごとに開催している。一泊二日で開催したときもあつたが、年齢的に最近では昼の開催である。安藤先生は健康上ご出席ができませんが、井上先生と石田先生は毎回ご出席いただいている。幹事は十三人。時期が近くなると誰からともなく声がかかる。お世話役の小生が打合せの案内を出す。みんな出席してくれる。日時と会場、恩師の送迎、当日の受付、進行写真など役割分担を決める。各自が自覚してスムーズに決まる。同窓生に案内を出す。かつては半分近い同窓生が出席してくれたが、最近では三分の二程になった。しかし、始まれば「昔丸出し」で賑やかなことこの上なしである。今後とも続けられるよう、恩師と同窓生みんなの健康を心から願うものである。

春の花が咲き誇る庭を眺めつつ、恩師同窓生を想いながらペンを走らせています。

恩師二人

副会長 武藤 紀久

この年齢にして、今なお体育・スポーツの道に携わつていけることができるのは、二人の恩師に出会えたからこそ心から感謝しています。

そのお一人、酒井弘太郎先生には体育教師の何んたるかを身を持ってご指導いただきました。現役時代の求める体育教師像のお一人でした。先生は薬科大学出身という異色の体育教師でもありました。昭和

三十六年バスケットボール部をインターハイに出場させ、高校総体史上、類をみない金字塔をうち立てられました。いつまでもご指導を仰ぎたかつたものの、昭和六〇年病魔に侵され、あまりにも早い旅立ちをされました。合掌。

一方、小池亮二先生は恩師であると同時に人生の師でもあり、今もお付き合ひをいただくという幸運に恵まれています。

先生の生き方や考え方は私のバレー哲学の基となり多大な影響を与え、その指導の中で折に触れ示された適切な助言のすべてが今ある私の栄養素になつています。また先生からは指導の原点になつた「選手を信じて」「努力すること」の大切さも教えていただきました。

昭和三十六年、県バレーボール大会新人戦においての初優勝は、今も忘れることができせん。そしてあの頃のまま、今も先生と選手との信頼の絆は途切れることなく続いています。

緑、そして歩み

会計 廣瀬 精雄

華陽高校を卒業して二十二年という月日が流れました。あの頃の学校生活を思い出すと、楽しかつた宿泊研修、体育祭、生徒会キャンプなど多くの学校行事がありました。とくに本校での四県交歓会が大成功の内に無事務める事ができたことです。そして四年間の学校生活が楽しく送れたことに感謝しています。

卒業後もクラブ活動(茶道部)の非常勤

講師として勤めています。本校には茶道室があり、落ち着いた雰囲気な部屋で放課後稽古をしています。

今年に入り書き損じた葉書を整理していたら、華友会執行部役員会準備の案内状がありました。私は華友会総会に向けての総会準備、総会、懇親会など楽しかった当時の思い出が走馬燈のように思い出されました。また、三年前から同窓会役員として、同窓会の手伝いをしています。昨年は創立八十周年感謝記念事業があり盛大に会の式典が実施されました。これも皆様方のご支援とご協力の賜ものと感謝申し上げます。今後共母校の為に宜しく願います。

岐阜東部華陽会

加藤 正幸

前号でかいたように岐阜東部華陽会は奇しくも母校創立五十周年に産声をあげ、澤田榮作母校同窓会名誉会長の献身的なお骨折りで続いているのは大きな誇りであります。

今年も本会は三月二十日、割烹さわだにおいて、母校から加藤知之校長、高橋克副校長それに樽谷毅同窓会会長を迎え、岐阜市議会議長、岐阜商工会副会頭等を歴任された多士落々の皆さん十八名が出席してなごやかに開催できました。時の流れはいたし方なく、長老格で母校同窓会会長としてもご功績のあった細江敏雄さんが三月

はじめに亡くなり、全員で黙禱してご冥福をお祈りしました。

マンモス化、多様化の中で健在な母校の近況、同窓会のこれらについてお話を伺い、恒例の花束贈呈や記念写真におさまったあの酒をくみかわしての歓談が進み、当時はいいしれない苦学をもとめせず、はつらつさに沸き立つものがたぎっていた日々の自慢話を時を忘れさせたようでした。最後にみんなで校歌を力いっぱい合唱して、来年も元気に再会しようと誓いあったことでした。それにしても出席者が増えないのが頭痛のタネ。毎回十数人以上が年四、五回も食事会や旅行をしている私の学年では無理しても出席してもらえないのでありがたいと思っているが、二人、三人の学年仲間で行つてみようと気楽に出てもらえれば幸いです。



華陽高校東京同窓会

堀 啓二



平成二十四年度の華陽高校東京同窓会は、十月二十日(土)午後一時からグラウンドアー

ク半蔵門で開かれました。母校から加藤校長、樽谷同窓会長、また特別会員の恩師小林先生ら、計十名が出席されました。会は安岡会長のあいさつに続き、加藤校長

から発展する母校の活動状況などの報告があり、感動させられました。樽谷同窓会長から会の運営状況等について述べられました。次に出席者の自己紹介と近況報告があり、酒食とともに歓談しました。途中、中谷ンゲ子さんの舞踏の披露があり、宴席に華を添えていただきました。

最後に、事務局から出席者の増加について旧友などに同窓会出席の勧奨を行い、今年より一人でも多く出席していただき、旧交を暖める機会とした旨の要請がありました。来年の開催を十月二十六日とすることが了承され、和やかな雰囲気の中に終了しました。

関西同窓会・華友会のご案内

- ◆関西同窓会
連絡先…横山道雄
電話…〇七二七(五七二)二五六〇
- ◆華友会
連絡先…杉浦博章
電話…〇五八(二七二)〇四三五
- ◆岐阜東部華陽会
連絡先…加藤正幸
電話…〇五八(二四三)二一九〇
- ◆華陽高校東京同窓会
連絡先…安岡 襄
電話…〇五八(二七二)〇〇〇〇

恩師のハジメ

今年度の当番幹事にゆかりある先生方からメッセージが届いています。

「老い」は楽しい

定時制 杉原 俊郎

私はもうすぐ七十二歳を迎えます。夜間定時制の華陽高校で教鞭を執ったのは二〇代



今や定年退職して二年目。医者は婦人科以外のあらゆる科の世話になりました。心臓には人工弁とペースメーカーが入っていて、二級の障害者です。さらに困ったことには、物忘れがひどくなったこと。読み終わった瞬間その本の内容を忘れてしまったり、見終わってから前に見た事があるテレビドラマだったことに気づいたりします。もともとたいした能力があつたわけではないが心身のこのひどい衰えを認めないわけにはいかない。しかし私は今、人生の最も充実した黄金のような時間をおくっています。まずは、大赤字の道楽百姓です。竹の炭を焼いて土づくりに取り組んで、どうしたら旨い野菜や柿や米ができるか日夜考えています。二つめは、日本語教師を十年以上も続けている事。これは日本語学校の非常勤講師を勤めながら、土日はボランティアで外国人に日本語を教えましたことです。おかげで、中国、ベトナム、フィリピン、カンボジア等アジアに多くの知人ができました。

自慢ついでにもうひとつ。二〇二二年には東北の被災地へ大野町の柿農家から「富有柿を送る会」を立ち上げました。大野町内外のみなさんのご協力で、五〇〇箱、七〇〇個余の富有柿をトラックで、東松島市へ届けることができました。この時華陽高校の卒業生にも義援金をいただきました。最後にもう一つ、医者では治らない病氣・『オキナワ病』も煩いました。おかげさまで、少しだけ三線(さんしん)を弾くことがで

きるので、老人会などで恥をかきかき弾いて
います。

やや自慢話が過ぎたようですが、まだまだ
やりたいことはたくさんあります。老いも
また楽しからずや。これからも、やりたい放
題、贅沢な時間を楽しもうと思っています。

外は暗くとも
明るい学校

定時制 加藤 良治 先生



二十四才から七年間
在籍しました。

当時は岐阜高校と教
室を共用し、職員生徒と
もお互いに認め合いながら和気藹藹に共存
しました。従って今と違い夜間だけの高校で
した。一時間目が終わると給食があり、長
良川越しに見る夕陽の美しさは今でも鮮明
に思い出します。現職を終わって、十年がた
ち、順次弱っていく体に鞭打ちながら毎日
二万歩以上の散歩、旅行、地域の活動、同
窓会の幹事、そして少しばかりの畑に精を
出しています。年賀状などで卒業生とのや
りとりは、今でも続いています。一番多い
のが華陽高校の卒業生です。中には親子と
もに教え、結婚式にまで招待されることが
あります。家族的な雰囲気のある素晴らしい
学校であったと思います。卓球では全国優
勝をさせてもらいましたが、前任者の遺産
によるものが多く私が顧問になつてから弱く
なつたのではないかと責任を今でも感じて
います。卓球部のOB・OG会には参加さ
せてもらっています。昼は仕事、夜は勉強に

部活、そんな中で多くの人が公立大にも入
る。あの時の学校はもうないかなど時々思
います。

最後に卒業生の皆様の今後の益々のご活
躍をお祈りします。

信じ合えて

定時制 岡本 登久恵 先生

着任来「高校生として学んで欲しい」の
願いを込め、一日行動表「まごころ」貼付
校門の「おはよう」「今日の仕事うまくい
た?」「身体は大丈夫?」「問題は解決した?」
等、何気ない言葉を掛け、雨・風・雪を問
わず、立ち続けた事を思い出します。

学校内に、家庭的な暖かい雰囲気を作れ
ば、きつと気付いて、自分を成長させるだろ
うことを信じて。

日頃、「やかましい」とか「うるさ」と、
応えていた生徒達、ある日、校門に立つ私達
に「おはよう」って「毎日ご苦労さん」バラ
バラとだが言葉を返してくれて、半年後には
殆どの生徒が言葉を返せる様になり、も
う大丈夫と、ホッとしたことを思い出しま
す。

私は、この時代、教育を通して、公私共
に母の時代を生きた気がします。

教師が忘れてならない事は、どんなに生
徒が荒れても、見て見ぬ振り、身を引く事は、
決して、あつてはならないのだと思います。

この時代、生徒だった皆さん、厳しかった
私ですが、解つて、受け止めて頂き有りがと
うございました。

教師とは!を学んだ時期

定時制 古澤 武文 先生



「フォー」・「ドヤー」・華
陽高等学校(定時制)へ
拜命!五十歳近いのに。
いざ勤務当時は二五〇名
程の生徒(他校からの転学者・学校嫌いな
者・勤労学生として)はずい個性一杯の連
中であつた。この中、毎日生徒と格闘と戦争
状態であつた。これではと、教師一同「もつと
生徒の中にドンドソ溶け込んでいこう」とい
う合言葉で取り組む事にした。まず部活に
力を入れよう!軟式野球・バスケット・バレエ
等と放課後九時半〜十二時頃まで共に汗を
流した。実に良い雰囲気になつていった。又
給食後生徒達は職員室におしかけ、職員室
は大盛況。生徒の「生」の声、「生」の声で
の語らい。部活で生徒と共に汗を流し休
時間等での「生」の語らい。「良いなあ教師は」
と痛感したものだ。共に学ぶ事がいかに大
切か大いに学ばせてもらった。教師とは「私
の大きな財産となつた。私は生徒に常々言
っていました。「友を作れ」と。喜びを二倍に
してくれ、友は悲しみを半減してくれるから。
今、当時の教え子に会いたいなあと痛切に
思う。華陽高等学校のますますの発展を祈
り、華陽高等学校バンザイだあ。

かけがえのない日々

通信制 弓削まさみ 先生

思えば昭和が平成に
変わったのは、通信制に
勤務していた時でしたか
ら、もう二十年に余る歳
月が流れたのです。私は四年前に退職し
ました後、母の介護と見送りを経て、現在
は寂しくも穏やかな毎日を過ごしています。
通信制にお世話になつたのは四年前でした
が、その頃の事は心に強く焼き付いています。
全日制とは異なるシステムや、自分より年
長の生徒の方々に戸惑いながらも馴染んで
いったこと。体験発表会、四県交歓会、予
餞会に向けての劇の練習……。様々な場面
が鮮やかに懐かしく思い出されました。熱
心に学習に取り組まれていた方々は、努力
家で行動的で、何よりも心の若さをお持ち
でした。当時の私は、そうした皆さんの折々
の姿から、多くを教わつた気がします。教師
の仕事が楽しく思えたかけがえのない日々
でした。今、無所属の身になつた私には、自
由と穏やかな時間が訪れています。それを
味わいつつまたた漫然と過ごしたくなくて、
朗読と歌(シャンソン)を習っています。い
つかボランティア活動につながるのを夢見て
……。ではどうぞお元気で。皆さんのご
多幸をお祈りしています。

機関誌「華陽通信」の思い出

通信制 後藤 稔治 先生

私は昭和五十八年度から平成二年度ま
での八年間、通信制でお世話になりました。
通信制には機関誌「華陽通信」が毎月発行



されていて、私がその仕事を担当していました。

華陽通信第四七号 (昭和六十年十月号)の

表紙は、先月行われた「中部地区生活体験発表会」の写真でした。表紙の写真は、私が撮りました。「学習」のページは、印南先生の「弁証法」と高岡先生の「原子爆弾と原子力の利用」「ひろば」のページは、体験発表を聴いた生徒の感想が載せられています。裏表紙には、スクーリングの時間割が載っています。私がこの号を取り上げたのは、第四七号には別に十ページの特別号が付いていたからです。これには「すばらしい本(人)との出会い」と題した短文を八編載せました。特別号の発刊など、初めてのことではなかったかと思えます。当時三十二才の私も、トルストイの「懺悔(ごんげ)」を読んだ感想を載せました。人生と信仰に関わる内容で、青臭くて冷や汗ものです。でも、懸命に生きていました。

定年が近づいてきた今、私は長い休みの日などには、八年分の「華陽通信」を読み返しています。

1年間の勤務でしたか

前副校長 高橋 克 先生



私の三十七年教員生活は、この三月で退職を迎えました。最後の年を華陽フロンティア高校で勤務できたことに、感謝しています。

あまり生徒と接点のない中でしたが、リトルワールドで生徒たちとカレーライスを作りながら、話ができただけが楽しい思い出です。共通の何かを作りながら会話をすることはとても自然で、お互いの壁がなくなる瞬間でした。またそれぞれの役割をもつての共同作業は、今の若者が苦手と言われるコミュニケーション力を培うのには非常に有効な行事だと感じ入りました。

私の役割の一つに定時制で、生徒が給食を食べる三十分前に検査がありました。四時十分からの夕食は、早い時間の夕食ですが、給食棟への途中でいろんな生徒と言葉を交わせることは楽しかったです。副校長室の前によく生徒がくつろいでいて、生徒のほうからも気楽に声をかけてくれました。

定時制・通信制に通ってくる生徒には様々な事情を抱えている生徒もいます。そういう生徒が生き生きと、また、充実した高校生活を過ごせる場になっていることが、現在の華陽フロンティア高校が社会的に大きな役割を担っていること、自信を持って思います。

今後、そういった生徒が、将来、社会で大きく活躍できるべく、先生方がさらに努力され、教育内容の充実に取り組みんでいてもらいたいと強く期待します。

すべての出会いに感謝

定時制 堀 誓光 先生

華陽フロンティア高校で何も分らない中での出発は平成十七年四月でした。定時制課程「学年Ⅱ部の担任・渉外部長



になり、校時・カリキュラム・授業・同窓会・PTA・部活(剣道)等ほとんど見通しを持って、日々目の前の出来事をこなす事に四苦八苦でした。授業の思い出は、生徒と胸ぐらに掴み合い争ったこと。同窓会では、会議の連続の末、八十周年事業を成功させて頂いたこと。PTAでは、歴代会長・役員に恵まれ楽しく活動できたこと。部活では、全国大会四年連続入賞できたこと。七年間のすべてが多くの人の暖かいサポートのお陰であり深く感謝しています。

近況報告

通信制 森 利香 先生



皆さん、お元気でですか？私は今日は朝から教壇を踏み外し、大声を上げて一番前の席の生徒に倒れ込みました、ごめんなさい、相変わらずです…。

さて、私は今、全日制普通科高校で働いています。華陽フロンティア高校からこの学校の赴任時最初の新任式で、ステージ上から生徒を見下ろした第一印象は「おお、黒い…」でした。制服も髪も二面黒色。華陽フロンティア高校では、服も髪もいろいろで特に髪は金色だったり白髪だったり薄かったり(ごめんなさい)…。そんなことを思い出し、思わず壇上でクスクスと笑ってしまいました。

そんな調子で始まった今の生活ですが、生徒は皆我が子より若く、一言で言うともかわいいです。そんな生徒たちに、私は時々華陽フロンティア高校の話をしてしまいます。県立高校教員にとっては通信制課程で働けることは奇跡的なことです。その貴重な体験を、同じ高校生である生徒たちに語らずにはいられないのです。そんな私の想い出話を、生徒たちは興味深そうに素直に聞いてくれています。

皆さんは、今、どこで何をしていますか。今はそれぞれ離ればなれの私たちですが、どこにいても華陽フロンティア高校の想い出を共有しています。そういうの、なんだかほっとしますね。

自分らしい時間

定時制 小澤 天平 先生



七年間という長い年月を経、私は「ミスター華陽」という栄えある称号をある生徒から授けられました。私のいない華陽フロンティア高校はどうですか？新たな「ミスター」は生まれそうですか？

七年間、多くの人たちに引つ張られて何とか駆け抜けることができましたが、決して孤独ではなかったことが私の強みでした。「戦友」とも言える頼もしい同僚がいて、いつも背中を押してくれました。私を支えてくれました。そのおかげで、私らしく生きることができました。「感謝」なんて既成の

言葉では言い表せない恩を感じています。そしてまた、生徒たちにも同じような感覚を抱いています。私が私らしさを見つけた場所が、華陽フロンティア高校でした。

おそらく、多くの卒業生たちも同じ気持ちでいるのではないのでしょうか。人生の中でもなかなか見つけられない「自分らしい時間」を胸に、これからは「あなたらしく」生きてほしいと思います。最後に二首、はなむけの言葉として。意味は最寄りの国語科へ。

華蝶遊夜光 陽落知多少
定離雖必来 時運流逍遙

卒業生のこぼれ

当番幹事の方を中心に寄せて頂いた卒業生からのメッセージです。

卒業して本当によかった。

平成三年度卒 通信制 安達 昭二

一昔十年と言いますが、私は二昔前に本校を卒業する事が出来ました。当時の思い出は忘れた事は有りません。先生方、友人先輩、ソフトボール大会、クラブ活動、県外交流、等々。楽しかったです。しかし、苦しい事も多く有りました。勉強に力をつけて一日は止めようと真剣に考え、一切を放棄した時も。妻や子供達に「やっぱし俺は駄目やわ、英語や数学は全然分からん、辞めるなら早い方がいいなあ、いろいろと協力をしてくれたが、もうあかん」そんなある日、担任の先生より家に電話が有りました。数々の励ましの言葉でした。勇気が出

ました。本当にやる気になりました。そして四年。念願の卒業証書を頂く事が出来ました。家族共々喜びました。最高でした。現在七十四歳で益々元気です。今は施設警備員として、責任ある立場で某学校で働いています。警備員歴十三年目です。五年前に施設警備業務の資格も取得し頑張っています。これからも、高校で学んだ数々の貴重な事柄を今後の人生に感謝を添えて生きていきたいと思っています。



学びへの楽しさ

平成四年度卒 通信制 宮崎 昌己

華陽F高校通信制に入学して来る生徒達は全日高校と違い年齢に差が有り、三十代の生徒さんは四、三%になり人生の縮図のようです。二年生でも二年生の生徒は自分より年上で、また三年生の生徒は自分より年下だということ。各々生活環境も異なり、人生経験も異なりその中で同じクラスとして活動勉学を共にすることは、実に素晴らしいことです。全日制とは価値観が大きく異なるのです。昼間働いて夜勉学をする他に無い努力と忍耐です。人間関係も多く経験するでしょう、生徒の全員が仕事をもち自立しようと努力の姿はとても大切なことです。卒業して学業を納め社会に貢献する姿に光あれ。

「団結の力」

華陽F高校通信制に軟式野球部があり平成二十四年度に全国大会に出場、皆様の応援の賜物だと思っております。野球部員は全員仕事を持っており選手が揃う日数は少なく、その中で一人一人の自覚が大切となります。自分の与えられた守備位置を守り、それが勝利となる、自分がいくら上手いとしても他の守備を同時には守れない、選手は九名ですが控選手が居なければなりません。お互い相手を認めることから勝利の道が開けて来るのです。年齢も差が有り自覚が価値を高めていくのです。近い将来自分の家庭生活を持ち責任感を高めていくのが野球を通じて培う場所です。是非一度練習を見に来て下さい。

華陽フロンティア高校での三年間

平成二十三年度卒 定時制 服部 和馬

華陽フロンティア高校を卒業して約二年が経ちました。僕は華陽フロンティア高校で色々な経験をしました。二年生の後期には初めてクラス委員長を務めました。自分が出ることが苦手でしたが、頑張つてやることにしました。後には卒業生を送る会の実行委員会にも挑戦しました。初めて実行委員会の仕事をしました。とても作業が大変でしたがみんなと協力してできたのでよかったです。3年生の時はまだクラスの委員長と文化祭の実行委員会も初めて挑戦しました。最後の文化祭だったので思い出にできました。クラスではダンスをやることになりました。実行委員会の仕事も両方あり、すごく

大変でした。朝から夜遅くまで毎日話し合いをしたり、ダンスの練習をしたり、文化祭のことばかり考えていました。部門の仕事では中々作業ができていきませんでした。たくさんありましたが、とてもいい思い出になったし、とても楽しい文化祭になりました。僕にとつて華陽での三年間はとても充実していました。この経験を活かしてこれからも頑張ります。

感謝と思い出の三年間

平成二十四年度卒 定時制 秋田 将大



華陽フロンティア高校を卒業して、まだ二ヶ月程しか経っていませんが、振り返れば思い出が数えきれないほど蘇ってきます。

一年生の頃は何もわからず、慣れない所で友達をつくるのに必死だったのを、ハッキリ憶えています。それからは、様々な行事に参加し、華陽の良さ、楽しさを身をもって体験でき、二年次には生徒会執行部として全力を尽くしていききました。東日本大震災の募金活動や文化祭、卒業生を送る会の中心となつて活動したことは、自分にとつてもためになる体験でした。そして三年次では生徒会長として、この華陽に貢献できたのではないかと思います。その立場のおかげもあり沢山の生徒や先生と交流することができ、毎日が意味のある日でした。そんな日々は、嫌だと思ふ程早く過ぎていき卒業を迎えました。意味のある毎日を与えてく

れた華プロは、ある意味、ぼくの原点です。卒業した今、夢を叶える為に専門学校へ通っています。ボヤけていた夢をハッキリさせてくれたのも華プロのおかげ。先生方、友達ありがとうございます！

自分の羽で空を飛ぶ

平成二十三年度卒 通信制 星野 翔

私は今まで生きてきて色々な角度の自分をもっています。職場や友人関係の中の自分。家族の中や高校の中での自分。どれも自分ですがそれぞれ見られ方が違います。例えば職場ではかぶき者と言われます(笑)友人には不良といわれ(悲)家族には自由人。高校では生徒会長。立つ場所により様々です。その中でも個人的に一番気に入っていたのが高校での生徒会長でした！

何故かという、職場では呑み会の誘いを「生徒会長はやることあるので」と断る事が出来る。友人からは「仕事しながらなのに偉いね」と称えられ。家族は卒業式に行きたいと言います。学校では生徒会長の仕事は先生が段取りをつけてくれるのでスムーズ！心の中で「生徒会長万歳」を三唱しました(笑)しかし卒業して「華陽フロンティア」の後ろ盾を失った今、裸一貫の自分を信じて世間の荒波に立ち向かっています！きつと「卒業する」とは自分の足で強く進めたいということなのでしょう。鳥のヒナが空へと羽ばたいていくように、すべての華陽フロンティア卒業生が自分の羽で強く空を飛べたら最高ですね。

この場所にいるのは、あの時間があったから。

平成二十三年度卒 通信制 川村 匠平



私は入学当初この華陽フロンティア高校は良く思っていたはなかった。通信制というのは授業の速さが遅く、金銭や精神面で理由があつて通っているという印象があり、私もその理由に当てはまる人だが、その一員になるということを敬遠していた。

だが高校に通い続けて二ヶ月、私は心にも余裕ができ、軟式野球部に入ることにした。三年生であつた私は残り短い高校生活に何か素敵な事をしてみたいと思つたのだ。そして野球部の皆は私の入部を歓迎してくれた。野球部は三年生が不在だつたため、私は最髙学年であつた。しかし、実年齢は私と同じ者が多くいたため、年上、年下の関係なく親しく接してくれた。勿論私は野球部の活動に積極的に参加した。夏が終わつても心身を鍛えるため卒業まで活動を辞めなかつた。

その事もあつてか、私は今まで以上に積極的に行動した。学園祭では舞台で劇をし、大学進学のために様々な場所に足を運ぶこともあつた。

卒業して約一ヶ月、私はあの時、入学当初の気持ちに馬鹿らしく思う。今は、この学校に入学してよかつたと思つた。

●活躍しています。在校生！●

通信制課程 軟式野球部

「全国大会」に出場

平成二十四年度第五十九回全国高等学校定時制通信制軟式野球大会に本校通信制課程の軟式野球部が、実に十九年ぶりに出場しました。

この十九年という期間は、決して順風満帆ではありませんでした。部員数が少なく試合に参加できなかった時期、部員数が数名となり野球部の存続すら危ぶまれた時期もありました。

このような中で通信制課程の野球部が存続できたのは、卒業生の方々の温かいご支援と連綿と築き上げてこられた伝統のおかげだと感謝しています。本校の教育目標は「継続は力なり」ですが、まさに、継続できたからこそ成し得たことだと思つています。



通信制課程 後藤ふうかさん

「ぎふ清流大会」に出場

平成二十四年十月十三日から、第十二回全国障害者スポーツ大会「ぎふ清流大会」が開催され、本校通信制課程二年次生の後藤ふうかさんが陸上女子車いす一〇〇mとソフトボール投げに出場し、一〇〇mでは銅メダル、ソフトボール投げでは銀メダルを獲得しました。また、大会に先立つて、炬火リレーにも参加しました。

後藤さんは、「練習の成果が十分発揮できなくて、悔しい思いが残りました。しかし、周りの方々が応援してくださり、とても感謝しています。そして、新たな目標もできたので、今後もスポーツと学業を両立させて頑張っていきたいと思つています。」と語ってくれました。



本校OBからの贈り物

平成二十四年は、思い出深い年となりました。
 本校OBの平工剛郎様が「瑞宝中綴章」を受賞されたのです。
 平工様は、昭和三十一年に本校の前身である華陽高校をご卒業され、その後、中央大学へ進学されました。大学を卒業する時に、国家公務員Ⅰ種に合格され、「北海道開発庁」に入庁されました。

約三十年余り東京と札幌で国家公務員として働かれた後、北海道開発に関連する公益法人にて十年余り働かれました。平工様は、公務員生活を終えられた後、北海道大学の大学院で学ばれ、文学博士とされました。

昨年度は、本校創立八十周年という記念の年でもあり、平工様の受勲は、何よりの慶事となりました。そんな中、平工様から一通の封書を頂戴しました。その中には、『今回の受勲は経済的に苦しい中で、高校時代に先生方からの温かいご指導・ご薫陶の中で勉学にいそむことができた賜物です。感謝の気持ちとして、図書券を贈りますので、図書の購入に充ててください。』という手紙がしたためられていました。

本校ではお気持ちをありがたく拝



受し、平工様が執筆・出版された書籍（戦後の北海道開発）とともに、「北海道コーナー」を常設し、多くの関連した書籍を購入し、広く生徒に公開させていただきます。

新卒生の進学先 頑張っています！ 華フ口生！！

定時制

<p>四年制大学 (国立)京都大学 東洋大学 文芸学院大学 和光大学 金沢工業大学 朝日大学 岐阜経済大学 岐阜聖徳学園大学 岐阜女子大学 中部学院大学 東海学院大学 愛知学院大学 愛知工業大学 愛知淑徳大学 福山女子学園大学 大同大学 大正大学 東海学園大学 京都精華大学 大阪芸術大学</p>	<p>専門学校(医療看護福祉) (公立)岐阜県立衛生専門学校 金沢医療技術専門学校 あじさい看護福祉専門学校 平成医療専門学校 半田清看護専門学校 尾北看護専門学校 朝日女子歯科衛生専門学校 あいち福祉医療専門学校 名古屋医療秘書福祉専門学校 名古屋歯科医療専門学校</p> <p>短期大学(部) 創価女子短期大学 大垣女子短期大学 岐阜聖徳学園大学短期大学部 岐阜保健短期大学 高山自動車短期大学 中部学院大学短期大学部 名古屋外国語大学 名古屋女子短期大学 日本福祉大学 名古屋女子短期大学部 人間環境大学 長浜ハイオ才大学 京都精華大学 大阪芸術大学</p>	<p>職業訓練校 (国立)東海職業能力開発大学院 (公立)国際こみアカカミー</p> <p>美容 岐阜美容専門学校 ヘルフトアカカミー オフビエティ</p> <p>調理 中日美容専門学校 中部美容専門学校</p> <p>商業実務 日本総合ビジネス専門学校 東京IT会計専門学校 HAL</p> <p>工 学 トヨタ名古屋自動車大学校 名古屋工学院専門学校</p> <p>保 育 名古屋文化学園保育専門学校</p>	<p>デザイン 名古屋コミュニケーション アート専門学校 あいち造形デザイン専門学校 トライアントデザイン専門学校 名古屋デザイン学院 日本マンガ芸術学院 大阪デザイン専門学校</p> <p>動物 名古屋動物専門学校</p> <p>各 種 バンタンデザイン研究所 日本マンガ芸術学院専攻教育 ヒュンマンアカカミー</p>
---	--	---	--

通信制

<p>大 学 北陸大学 朝日大学 岐阜経済大学 岐阜聖徳学園大学 岐阜女子大学 東海学院大学 愛知淑徳大学 大同大学 東海学園大学 同朋大学 中部学院大学</p>	<p>短 大 (公立)岐阜市立女子短期大学 大垣女子短期大学 岐阜聖徳学園大学短期大学部 岐阜保健短期大学 中部学院大学短期大学部 日本自動車短期大学 平成医療短期大学 愛知文教女子短期大学</p>	<p>専門学校他 (公立)岐阜県立衛生専門学校 (公立)岐阜市立看護専門学校 (公立)東濃看護専門学校 大垣市医師会看護専門学校 サンレジ国際医療福祉専門学校 国際医学士技術専門学校 国際医療管理専門学校 名古屋医療情報専門学校 名古屋製菓専門学校 ヘルフトアカカミー ヘルフトアカカミー 国際調理師専門学校 国際調理師専門学校 名古屋製菓専門学校 大原簿記医療観光専門学校岐阜校 大原法律公務員専門学校岐阜校</p>	<p>大原簿記情報医療専門学校名古屋 トライアントコビエト専門学校 トライアント外語ホテル専門学校 名古屋観光専門学校 名古屋ラオラルアーツ専門学校 名古屋モーター学園 日本マンガ芸術学院 日本マンガ芸術学院 大垣文化総合専門学校 名古屋ラオラルアーツ専門学校 代々木アニメーション学院 名古屋工学院専門学校 国立東海職業能力開発大学院 国立浜松職業能力開発短期大学校</p>
---	--	--	---

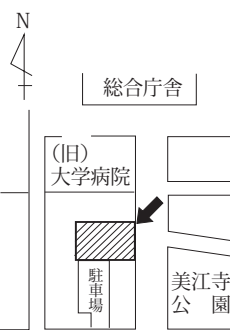
(定・通とも過去2年間分)

同窓会総会(二)案内

左記の日程で同窓会総会を開催します。今年度の当番幹事は昭和四十六年、四十七年、平成三年、四年、二十三年、二十四年卒業の定時制、通信制の方々を中心に準備が進んでいます。万障お繰り合わせの上、お誘い合せてご出席下さいませ。ご案内申し上げます。同封の葉書を七月十九日までにご投函下さい。

平成二十五年七月
華陽フロンティア高等学校同窓会
会長 樽谷 毅

- 一、日時 平成二十五年八月四日(日) 午前十一時(受付十時半より)
 - 一、会場 岐阜会館 (岐阜市司町三九一一)
 - 一、電話 (〇五八)二六四一二二五
 - 一、会費 男性 七、〇〇〇円 女性 六、〇〇〇円
- ※当日会場にてお支払い下さい。



次年度当番幹事の予告

平成二十七年同窓会当番幹事は昭和四十八年、四十九年、平成五年、六年、二十五年、二十六年の卒業年度の方々となります。

平成24年度華陽フロンティア高等学校同窓会決算書

科目 項目	予 算 額		収入済額 (D)	比較増額 (D)-(C)	備 考
	当初予算額 (A)	補正額 (B)			
会 費	1,050,000		850,000	△200,000	3,000円×255人
入会金	600,000		510,000	△90,000	2,000円×255人
雑 入	80		1,939	1,859	利息・記念誌販売
繰越金	1,084,920		1,084,920	0	
合 計	2,735,000	0	2,446,859	△288,141	

平成25年度華陽フロンティア高等学校同窓会予算書(案)

科 目	予 算 額 (a)	前年度予算額 (b)	比較増減 (a)-(b)	摘 要
入 会 金	600,000	600,000	0	終身会員 2,000円×300人
雑 入	763	80	683	預金利息
繰 越 金	1,720,237	1,084,920	635,317	
合 計	3,821,000	2,735,000	1,086,000	

支出の部 (単位:円)

科目 項目	予 算 額		支出済額 (D)	比較増額 (C)-(D)	備 考
	当初予算額 (A)	補正額 (B)			
総会費	250,000	0	135,242	114,758	役員総会
役員会費	50,000	0	27,751	22,249	役員会お茶代他
旅 費	100,000	0	50,400	49,600	東京同窓会他
印刷消耗品費	200,000	0	96,075	103,925	封筒印刷他
通信運搬費	200,000	0	14,420	185,580	総会案内郵送他
入会歓迎会費	180,000	0	153,000	27,000	600円×255人
部活動協力費	20,000	100,000	120,000	0	
褒賞費	50,000	0	29,400	20,600	4,200円×7人
厚生費	100,000	0	100,334	△334	祝儀他
予備費	1,585,000	△100,000	1,485,000	0	1,485,000
合 計	2,735,000	0	726,622	2,008,378	

(予算執行に当たっては、各項目の流用を認める。)

$$\begin{array}{r} \text{(収入)} \\ 2,446,859 \end{array} - \begin{array}{r} \text{(支出)} \\ 726,622 \end{array} = \begin{array}{r} \text{翌年度へ繰り越し} \\ 1,720,237 \end{array}$$

○特別会計 華陽フロンティア高等学校同窓会基金

項 目	種 別	預入日	満期日	口座番号	本年度末残高金額
華陽フロンティア高校同窓会積立	定期預金	24.3.29	25.3.29	No.1229724	538,582
〃	〃	23.10.14	24.10.14	〃	807,490
〃	〃	24.3.26	25.3.26	〃	2,000,399
〃	〃	24.3.29	25.3.29	〃	508,918
〃 (岐阜信金)	〃	24.3.26	25.3.26	No.2521325	1,000,200
〃 (大共)	〃	24.3.26	25.3.26	No.317962	1,000,200
〃 (郵貯)	〃	24.5.18	25.5.18	No.18227151	1,000,017
80周年感謝記念事業積立金	〃	24.2.18	25.2.18	No.1317220	2,002,000
〃	〃	24.2.18	25.2.18	〃	2,002,000
〃	〃	24.3.26	25.3.26	〃	1,000,200
合 計					11,860,006

前年度末残高 (A)	収入(利息) (B)	支出(一般会計) (C)	本年度末残高 (A)+(B)-(C)
11,857,818	2,188	0	11,860,006

支出の部 (単位:円)

科 目	予 算 額 (a)	前年度予算額 (b)	比較増減 (a)-(b)	摘 要
総 会 費	1,000,000	250,000	750,000	総会及び懇親会経費
役 員 会 費	100,000	50,000	50,000	役員会お茶代等
旅 費	150,000	100,000	50,000	東京同窓会等出席旅費等
印刷消耗品費	700,000	200,000	500,000	名簿メンテナンス会報、封筒印刷等
通信運搬費	900,000	200,000	700,000	会報等郵送代他
入会歓迎会費	180,000	180,000	0	卒業記念品(600円×300人)
部活動協力費	20,000	120,000	△100,000	
褒 賞 費	50,000	50,000	0	会長賞記念品(10人)
厚 生 費	150,000	100,000	50,000	祝儀等
予 備 費	571,000	1,485,000	△914,000	
合 計	3,821,000	2,735,000	1,086,000	

(ただし、予算執行に当たっては、各項目の流用を認める。)

(予算執行に当たっては、積立基金より一時借入れすることが出来るものとする。)

○特別会計 平成25年度華陽フロンティア高等学校同窓会基金

24年度末残高 (a)	収入(利息) (b)	支出(一般会計) (c)	25年度末残高見込み (a)+(b)-(c)
11,860,006	2,000	0	11,862,006

項 目	種 別	口座番号	24年度末残高
華陽フロンティア高校同窓会積立	定期預金	No.1229724	538,582
〃	〃	〃	807,490
〃	〃	〃	2,000,399
〃	〃	〃	508,918
〃 (岐阜信金)	〃	No.2521325	1,000,200
〃 (大共)	〃	No.317962	1,000,200
〃 (郵貯)	〃	No.18227151	1,000,017
80周年感謝記念事業積立金	〃	No.1317220	2,002,000
〃	〃	〃	2,002,000
〃	〃	〃	1,000,200
収 入(利 息)			2,000
支 出(一般会計)			0
合 計(本年度末残高見込)			11,862,006